



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
コード番号 6033 URL <https://www.e-extreme.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 島田 善教 (TEL) 03-6673-8535
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,380	△3.5	257	△31.6	394	△21.8	249	△21.2
2024年3月期第1四半期	2,467	27.4	376	67.3	504	62.8	317	52.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 288百万円 (△30.3%) 2024年3月期第1四半期 414百万円 (108.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	45.63	45.58
2024年3月期第1四半期	57.67	57.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,922	5,543	66.0
2024年3月期	8,487	5,821	61.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,224百万円 2024年3月期 5,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では第2四半期末日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	7.7	1,000	△8.9	1,050	△27.5	710	△31.4	129.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
除外 1社 （社名）株式会社E P A R Kテクノロジーズ

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,502,376株	2024年3月期	5,502,376株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	71,868株	2024年3月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,477,792株	2024年3月期1Q	5,501,508株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、このところ足踏みもみられるが、雇用・所得環境の改善により景気には緩やかな回復の動きがみられた一方で、国際金融情勢や中国経済の先行き懸念、円安の継続、地域紛争など、経営環境の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んできた一方、将来を見据えた経営戦略に基づき、グループ会社の再編を実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,380,391千円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は257,410千円（前年同四半期比31.6%減）、経常利益は394,308千円（前年同四半期比21.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は249,936千円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、一部のゲーム系企業などの需要に陰りが見えた一方、引き続き技術ソリューションへの需要が旺盛な非エンターテインメント業界の顧客への営業活動を強化し、新規顧客開拓や既存クライアントへの深耕営業に注力したため、受注状況は順調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は2,358（前年同四半期稼働プロジェクト数は2,152）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,619,265千円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益は203,900千円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。売上種別としては、「新規開発」「保守・運用開発」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co., LTD.、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社についても当該事業に含まれます。

当第1四半期連結累計期間においては、前会計年度に引き続き企業のデジタル投資への拡大を背景に売上高、営業利益ともに順調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は694,977千円（前年同四半期比21.9%減）、セグメント利益は169,284千円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社D r a g a m i G a m e sは当該事業に含まれます。

当第1四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』のゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生した他、株式会社D r a g a m i G a m e sのゲーム販売額も発生しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は93,376千円（前年同四半期比45.4%減）、セグメント利益は59,445千円（前年同四半期比57.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,922,213千円となり、前連結会計年度比565,316千円の減少(前連結会計年度比6.7%減)となりました。これは主に、仕掛品96,411千円、ソフトウェア仮勘定20,435千円、投資有価証券69,263千円、その他93,457千円それぞれ増加した一方、現金及び預金259,776千円、売上債権331,467千円、その他流動資産114,955千円、長期前払費用118,637千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、2,378,284千円となり、前連結会計年度比287,931千円の減少(前連結会計年度比10.8%減)となりました。これは主に、未払費用159,007千円増加した一方、短期借入金200,000千円、未払金76,091千円、未払法人税等78,578千円、賞与引当金71,227千円、受注損失引当金16,139千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、5,543,929千円となり、前連結会計年度比277,385千円の減少(前連結会計年度比4.8%減)となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金48,165千円、為替換算調整勘定3,958千円増加した一方、自己株式88,130千円、非支配株主持分280,449千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

デジタル人材事業については、部門毎の前期末稼働プロジェクト数をベースに、当期採用予定数及び離職率予想などを勘案して算出し、合理的な積み上げ予測に基づいて推定される収益を予想値としております。

受託開発事業については、新規案件は期末時点での受注済み案件及び受注確度が高い案件の積み上げにより、予測値を算出しております。継続案件は前期末時点において継続中の案件及び継続期間を合理的に見積もり、その積み上げによって予想値を算出しております。

コンテンツプロパティ事業につきましては、ライセンス事業が主な収益源となっておりますが、前期におけるライセンス許諾ロイヤリティ実績及びライセンシーの独自予測及びゲームソフト販売実績等を参考に算出した数値を予想値としております。子会社(株式会社Dragami Games)における売上高については、当該会社の事業計画をベースに予想値を算出しております。

以上の結果から、2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」発表時の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,935,928	3,676,152
受取手形、売掛金及び契約資産	1,420,673	1,089,205
有価証券	208,906	225,648
製品	128	128
仕掛品	373,513	469,925
その他	305,285	190,330
貸倒引当金	△537	△400
流動資産合計	6,243,898	5,650,990
固定資産		
有形固定資産	84,804	80,367
無形固定資産		
ソフトウェア	70,550	62,221
ソフトウェア仮勘定	1,517	21,952
のれん	185,476	177,171
無形固定資産合計	257,543	261,345
投資その他の資産		
投資有価証券	1,357,458	1,426,722
関係会社株式	190,433	195,932
長期前払費用	150,259	31,622
繰延税金資産	71,548	50,191
破産更生債権等	8,527	8,527
その他	131,582	225,040
貸倒引当金	△8,527	△8,527
投資その他の資産合計	1,901,283	1,929,509
固定資産合計	2,243,631	2,271,222
資産合計	8,487,530	7,922,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	850,000	650,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	28,560
未払金	1,030,921	954,830
未払費用	131,345	290,352
未払法人税等	247,021	168,442
未払消費税等	96,845	86,029
賞与引当金	155,053	83,825
受注損失引当金	18,899	2,759
その他	54,444	67,499
流動負債合計	2,623,091	2,342,299
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	9,600	2,460
退職給付に係る負債	13,354	13,354
繰延税金負債	15,170	15,170
固定負債合計	43,124	35,984
負債合計	2,666,215	2,378,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,451	419,451
資本剰余金	413,258	413,258
利益剰余金	4,262,447	4,303,326
自己株式	△1,159	△89,290
株主資本合計	5,093,998	5,046,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,839	154,004
為替換算調整勘定	20,053	24,011
その他の包括利益累計額合計	125,892	178,016
新株予約権	20,274	18,466
非支配株主持分	581,148	300,698
純資産合計	5,821,314	5,543,929
負債純資産合計	8,487,530	7,922,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,467,214	2,380,391
売上原価	1,654,203	1,673,730
売上総利益	813,010	706,661
販売費及び一般管理費	436,788	449,250
営業利益	376,222	257,410
営業外収益		
受取利息	27,045	28,299
受取配当金	1	0
為替差益	96,895	101,772
持分法による投資利益	4,204	5,498
その他	2,291	4,698
営業外収益合計	130,438	140,269
営業外費用		
支払利息	586	1,052
支払手数料	1,697	2,318
その他	350	0
営業外費用合計	2,634	3,371
経常利益	504,026	394,308
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,208
特別利益合計	—	3,208
税金等調整前四半期純利益	504,026	397,517
法人税等	171,421	160,940
四半期純利益	332,604	236,576
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,331	△13,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,273	249,936

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	332,604	236,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,382	48,165
為替換算調整勘定	6,136	3,958
その他の包括利益合計	81,519	52,123
四半期包括利益	414,123	288,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,792	302,060
非支配株主に係る四半期包括利益	15,331	△13,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社E P A R Kテクノロジーズは、当社の出資持分を全て譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	19,259千円	15,001千円
のれんの償却額	8,304千円	8,304千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,412,036	884,280	170,898	2,467,214	—	2,467,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,705	6,067	—	49,773	△49,773	—
計	1,455,741	890,347	170,898	2,516,987	△49,773	2,467,214
セグメント利益	249,449	155,695	139,178	544,324	△168,102	376,222

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,592,237	694,777	93,376	2,380,391	—	2,380,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,028	200	—	27,228	△27,228	—
計	1,619,265	694,977	93,376	2,407,619	△27,228	2,380,391
セグメント利益	203,900	169,284	59,445	432,629	△175,219	257,410

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。